

ソニー 6石1Band TR-650形

正 価 6,300円

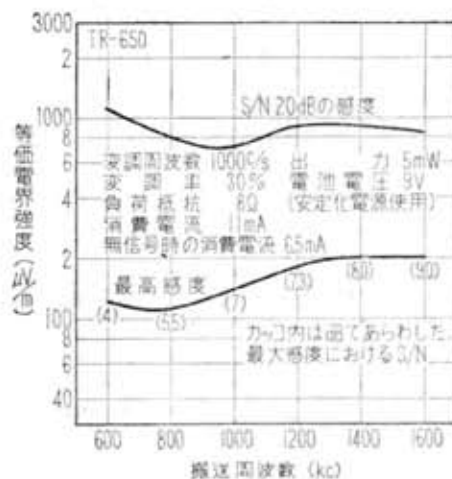
〔外観、回路構成〕

ソニー製ポケットابلとしては、典型的なタイプである。スピーカがケースの外にはみ出たような、ポータブル・ラジオのデザインの概念を破るような形をしたセットである。このようにセットの大きさのわりに大口徑(6.5cm)のスピーカが使用でき、音質も良好である。同調ダイヤルが微調方式なので、選局が容易なことと、音量調節が同調ダイヤルの隣りにあつて、指1本で操作できるのは親切である。電池は006P 1個で取替え専用の裏ぶたが開くようになっていゝ。シヤシ裏はネジ1本をははずすと裏ぶたがはずせるので見れる。真中にスピーカが配置され、それをとりまくように回路が組まれている。アンテナコイルは、最上段におかれ、鉄分から遠隔されている。基板裏は、このままではみえない配置である。

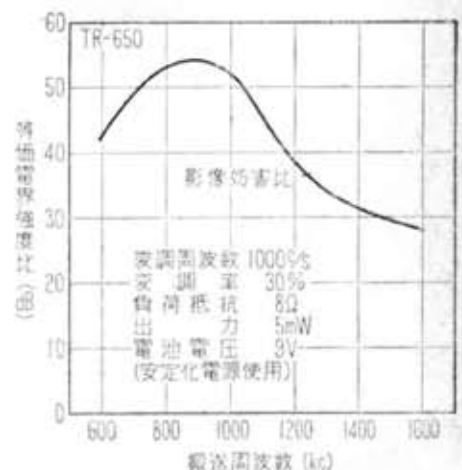
6石1バンドの一番オーソドックスな構成で、低周波増幅中段に簡単な負帰還がついている他は、AVC回路が凝っているのが特徴といえよう。初段中間周波増幅中段ベースに、検波後のAVC電圧を加えている上に、そのコレクタ電源側に10k Ω の抵抗を入れ、AVCがかかったときに生ずる電圧降下を変換段ベースに加えて、2重に働くようになっていゝ。

〔測定結果〕

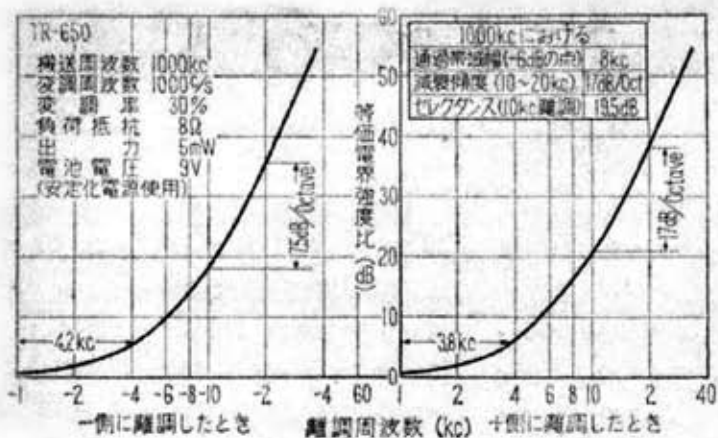
実用感度(S/N 20dB)が700~900 μ V/mで6石としては普通である。選択度の減衰傾度17dB、通過帯域幅8kcは、まずまずIFT3段の特性といつたところであらう。電氣的周波数特性、イメージ妨害比も順当な値である。ひずみは等価電界強度5mV/m、で出力5mWのとき2.1%と良好であり、無歪最大出力160mW出るのは、セットの大きさよりも、スピーカの大きさに合つた出力といえる。無信号時消費電流6.5mA、5mW出力時11mAある。



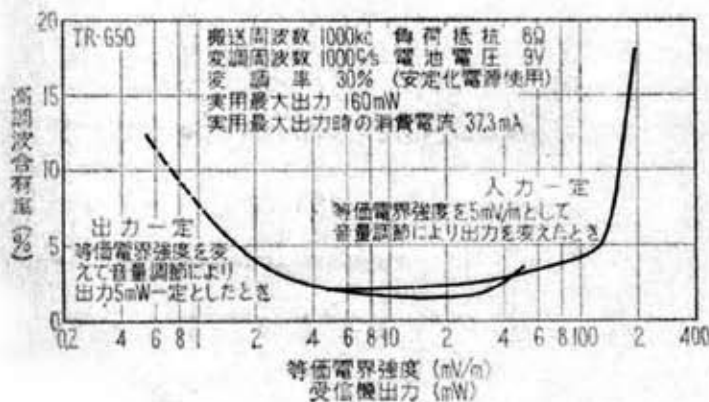
〔第1図〕 感度特性



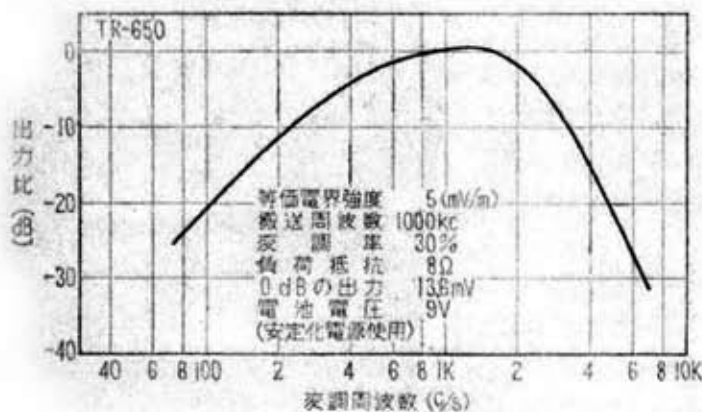
〔第2図〕 映像妨害比特性



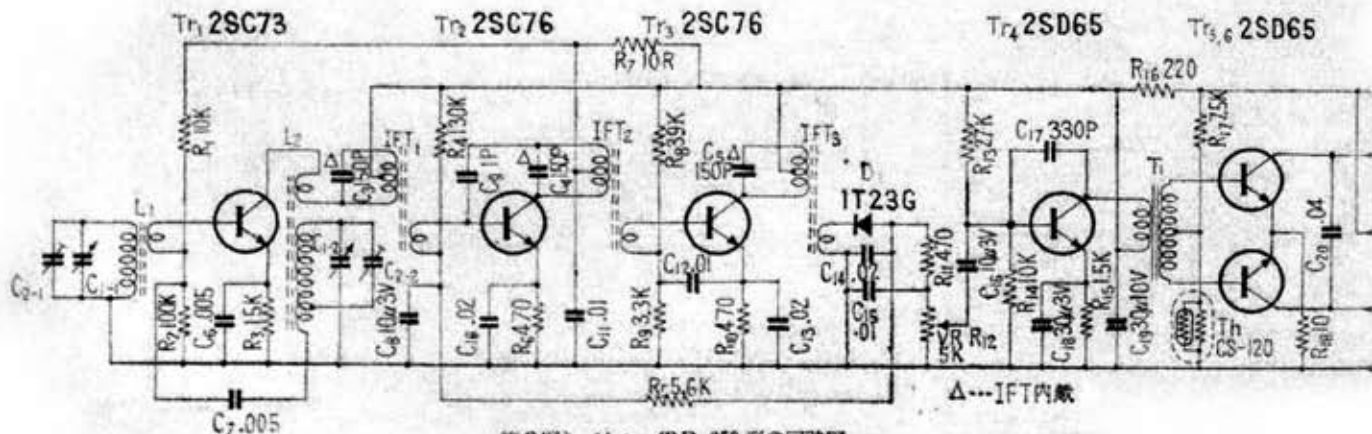
〔第3図〕 選択度特性



〔第4図〕 ひずみ特性



〔第5図〕 忠実度特性



第6図) ソニー TR-650 形の回路図

